

ひこね市議会だより

令和5年5月臨時会 (5月18日)
令和5年6月定例会 (6月5日～6月26日)

- 5月臨時会の結果 …………… 2～3
- 6月定例会で決まったこと …… 4～7
- 個人質問・個人質疑 …………… 8～18
- お知らせ …………… 19～20

第22期の議員



3列目	野村 博雄	伊藤 容子	長崎 任男	安澤 黒澤 辻	勝 茂樹 真理子	森野 克彦 菜穂子 小川 隆史	奥野 和田 北川	嘉己 一繁 元気	林 森田 堀口	利幸 充 達也	馬場 戸崎 八橋	和子 克司 龍二	中野 小川 角井	正剛 吉則 英明	上杉 矢吹 中川	正敏 安子 睦子
-----	-------	-------	-------	---------	----------	-----------------	----------	----------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

※議席番号順

決定しました

5月臨時会で上杉議長、長崎副議長が当選されました。
また、各委員会の構成は以下のとおりです。



65代議長
上杉 正敏 議員

議長挨拶

議会は、市民の皆様のための「カーナビゲーション」でなければならないと考えており、市政を間違いのない方向に速やかに導いてまいります。また、市民の皆さまのご理解をいただきながら、議会改革に全力で取り組んでまいります。

副議長挨拶

副議長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。
議長を補佐しつつ市長や議員の皆さんとともに彦根市政を前に進めてまいります。



76代副議長
長崎 任男 議員

◆ 委員会の構成 ◆

◎：委員長 ◆：副委員長 ○：委員

委員会名	中川 睦子	角井 英明	八橋 龍二	堀口 達也	北川 元気	小川 隆史	辻 真理子	長崎 任男	伊藤 容子	黒澤 茂樹	疋田 菜穂子	和田 一繁	森田 充	戸崎 克司	小川 吉則	矢吹 安子	上杉 正敏	中野 正剛	馬場 和子	林 利幸	奥野 嘉己	森野 克彦	安澤 勝	野村 博雄
企画総務消防常任委員会				◆		○			○				○	○					○		○		◎	
福祉病院教育常任委員会		○	○				◎				○				○			○					○	◆
市民産業建設常任委員会	○				○			○		◆		◎				○	○			○				
予算常任委員会	○			○	◎	○							○		◆			○	○	○	○		○	○
議会改革特別委員会		○			◎	○				○		○	○	○				◆						
議会運営委員会	○				○	◎									○			○		○			◆	
議場開放促進委員会					○		○			○	○			○		◎	○			◆				
広報委員会	○		○	◆								○			○			◎				○		○
広聴委員会		○				○		○	◆				○						◎		○		○	

5 月 臨 時 会 の 結 果

5月18日（木）の5月臨時会の結果についてお知らせします。
 予算関係2件、その他議案2件を原案のとおり可決・承認・同意しました。



新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を森田充議員とする議案に対し、同意しました。

5 月 臨 時 会 議 案 の 審 議 結 果

会期：5月18日(木)

■ 全員賛成で承認した議案

項目	番号	件 名
議 案	31	専決処分につき承認を求めることについて（令和5年度（2023年度）彦根市一般会計補正予算（第1号））
	33	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）

■ 賛否が分かれた議案

（○：賛成 ●：反対 —：議長）

項目	番号	件 名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村	
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄	
議 案	32	令和5年度（2023年度）彦根市一般会計補正予算（第2号）	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	除斥	○	○	○	—	○	○	○	○	●	退席	●



6 月 定 例 会 の 結 果

6 月 定 例 会 の 結 果

6月26日（月）に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係2件、条例関係5件、その他議案22件を審査し、原案のとおり可決、同意しました。
 また、諮問1件を適当と認め、請願1件を採択しました。

6 月 定 例 会 議 案 の 審 議 結 果

会期：6月5日(月)～6月26日(月)

■ 全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件 名
議 案	36	令和5年度（2023年度）彦根市病院事業会計補正予算（第1号）
	37	彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
	38	彦根市市税条例の一部を改正する条例案
	39	彦根市子ども・若者会議条例等の一部を改正する条例案
	41	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案
	42・43	財産の取得につき議決を求めることについて
	44	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	45～63	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
諮 問	1	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
請 願	3	フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報 告	5	令和5年度（2023年度）一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	6	第36期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	7	第27期株式会社夢京橋の事業計画について
	8	第21期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	9	令和4年度（2022年度）彦根市繰越明許費繰越計算書について
	10	令和4年度（2022年度）彦根市病院事業会計予算繰越しについて
	11	令和4年度（2022年度）彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	12	令和4年度（2022年度）彦根市下水道事業会計予算繰越しについて
	13	損害賠償の額の決定について
	14	和解および損害賠償の額の決定について

■ 賛否が分かれた議案

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件 名	結果	中川	角井	八橋	堀口	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	足田	和	森	戸	小	矢	上	中	馬	林	奥	森	安	野	
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	安勝	博雄	
議 案	35	令和5年度（2023年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

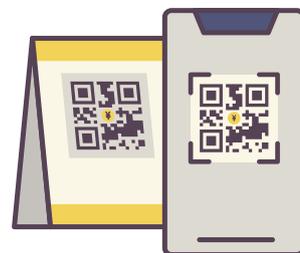


一般会計予算の主な事業

キャッシュレス決済ポイント還元事業

5億3,871万5千円

市内の小売業者、飲食店等地元企業の歳末時期の売上げ回復による地域経済の活性化を目的に、キャッシュレス決済事業者と市とが連携してポイント還元キャンペーンを実施するために必要な経費です。



都市施設整備事業

4,279万9千円



▲休憩スポット完成イメージ図

立花船町線の区域内で、護国神社交差点付近の休憩スポットの整備のため令和5年度に必要な経費です。

金亀公園整備事業

2,290万円



▲現在の金亀公園

金亀公園整備のため令和5年度に追加で必要な経費です。

予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、6月16日(金)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第35号、議案第36号

【主な質疑】

- 議案第35号に対して
 - Q ICLレコーダーのデータの取扱基準は。
 - A 適切に記録表を作成し、報告が済んだものに関しては、速やかに削除する。その他、違法や不当な働きかけの可能性があるものについては、必要と考えられる期間保管する。
 - Q 鳥人間コンテスト支援事業について、タイアップ番組の内容と開催時期は。
 - A 鳥人間コンテストが第45回を迎えることになり、タイアップ企画として、地上波番組を2本制作（45秒バージョンと3分バージョン）し、7月24日の週に放送する。7月29日と30日の鳥人間コンテスト

の開催日には、リアルイベントとして読売テレビ本社（京橋駅近く）にて、大型ビジョンで生放送をしていただき彦根市の物産販売、移住相談会をして彦根市をPRし誘客につなげたい。

【主な討論】

- 議案第35号に対して
 - 反対 ICLレコーダーの配備は、職員との関係を悪化させる可能性がある。キャッシュレスポイント還元事業は、経済効果はあるものの、使える人と使えない人の不公平感があることから反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、6月19日(月)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第37号、議案第42号、議案第43号

【主な質疑】

- 議案第37号に対して
 - Q 規定の金額を超えた範囲内で別途規定を定めるとしているが、その理由は。
 - A 今後、新型コロナウイルス感染症のような感染症が再度発生した場合に特例措置が適用できるように規定を改定。現在該当する感染症はないが、今後、発生した際に金額も定めていく。
- 議案第42号に対して
 - Q 高規格救急自動車は、平成25年に配備し10年を経過しており、更新の理由が救急出動回数および走行距離が多いと記載されているが、多い少ないの根拠は。
 - A 何かと比較して多いということではなく単純に多くの回数を使用して、走行距離が積み重なっているということ。

- Q 配備計画に準じたものか。
- A 5月31日現在で、出動回数12,444回、走行距離151,125kmである。更新計画では、10年または15万キロで更新としており計画通りである。

- Q 高規格救急自動車の装備は標準的なものか。何か特殊な装備はあるのか。
- A 市内の救急車は全て同じ装備。特にこの車に特別な仕様や資機材を搭載しているわけではない。

○議案第43号に対して

- Q 9者に打診して、6者が応札。結果(株)モリタが落札している。本市はほぼ(株)モリタ製であるが、間違いなく仕様書を示しているか。
- A 市の指名業者が案内をしており、適正に入札されていると認識している。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市政について
質す!

6月定例会個人質問

20人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。[\(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/\)](http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q マイナンバー制度の不安が広がる中、今後どう対応していくのか

A 市役所のマイナポイント申込支援特設窓口で随時対応している



その他の質問

- ・庁舎内に総合相談窓口の設置は
- ・彦根駅ロータリー・南彦根駅周辺の安全確保は
- ・生ごみの有効活用でまちづくりについて

Q 彦根市のマイナンバーカード交付数は。

A 4月末時点で76,152枚、交付率は68.1%。

Q これまでにトラブルや問い合わせはなかったのか。

A 報道されている、誤交付や別人情報とのひも付けなどは現時点ではない。

Q 今後、マイナンバーカードの保険証にひも付いてない人の対応は。

A 厚生労働省では「資格確認書」を提供する方向で検討中。来年秋の保険証廃止後から最長1年間は経過措置がある。各健康保険者はその経過措置期間中にひも付けを完了されるよう、周知することが想定される。

Q マイナンバー制度の不安が広がる中、どう対応していくのか。

A カードを持参していただければ、市役所でマイナポイント申込支援特設窓口にて確認するなど、対応を随時行っている。



▲マイナンバーカード



伊藤 容子議員
企画総務消防常任委員会

Q 新ごみ処理施設事業費が安くならず
今、決定ができると思うが見解は

A 広域行政組合で検討され決める
ものだ

Q これまでの計画を白紙に戻して検討を始めたように見えるが見解は。

A 熱焼却方式と好気性発酵乾燥方式を並行し今後も検討される。
白紙に戻されてはいない。

Q 生活の根本を担う大型案件の本事業について、市民に対して説明責任がある。客観的で正確な情報の提供方法は。

A 広域行政組合で検討された後、必要に応じその情報を基に市として適切に対応する。

Q 住民投票の実施は。

A どの処理方式を採用するかは、広域行政組合議会で判断し決められるもの。

Q 現在のごみ施設の状況を考えると決定を遅らせるのではなく、現在の報告書で決定ができると思うが見解は。

A 広域行政組合で検討し決められるものだ。現施設は市民生活に支障がないよう取り組む。



その他の質問

- ・彦根ご当地ナンバープレートについて
（住民意向の把握について
申請等について
甲良町との協議について）

項目	単位 (円)	熱回収施設 リサイクル施設	熱回収施設 リサイクル施設	ごみ焼却施設 リサイクル施設
① 施設整備費	百万円	1,100	1,717	1,000
② 施設運営費	百万円	10,000	10,000	10,000
③ 施設維持費	百万円	10,000	10,000	10,000
④ 施設廃止費	百万円	10,000	10,000	10,000
⑤ 施設整備費	百万円	10,000	10,000	10,000
⑥ 施設運営費	百万円	10,000	10,000	10,000
⑦ 施設維持費	百万円	10,000	10,000	10,000
⑧ 施設廃止費	百万円	10,000	10,000	10,000

▲新ごみ処理施設 追加検討調査報告書(令和5年3月)



北川 元気議員
市民産業建設常任委員会

Q ChatGPTをはじめとする
A I 技術の導入は

A 効果や課題の整理を行い、導入に
向けた検討を進める

Q ChatGPTをはじめとする A I 技術を市の行政サービスに導入する考えは。

A ChatGPT等の生成系 A I については、様々な質問に効果的な回答を行ってくれる技術であり、市民サービスの向上や、職員の業務効率化を実現する可能性のある技術として導入に向けて検討している。

一方、導入に当たりセキュリティ上の課題や、内容の正確性に関する課題、またどのように利用することが市民サービス向上や、業務効率化につながるかなどを検証する必要があると考えている。

現在、担当所属にて無償版を検証し、運用ルールの策定等すでに着手している。

今後段階的にChatGPT等の効果や課題について整理を行い、本市の独自システムの導入に向けた検討を進める。



その他の質問

- ・キャッシュレス決済ポイント還元事業について
- ・放課後児童クラブ負担金について



▲職員の使用するタブレットPC





森野 克彦議員
福祉病院教育常任委員会

Q 今年度、滋賀県内で18歳まで通院医療費無償化が拡大される市町は

A 草津市、高島市、米原市が18歳まで医療費無償化を実施される予定である

Q 滋賀県内の通院医療費無償化の状況は。

A 滋賀県内19市町（13市、6町）のうち、令和5年4月1日の時点で18歳までの医療費無償化を実施しているのは3自治体（豊郷町、甲良町、近江八幡市）、中学校3年生までが10自治体（長浜市、東近江市、米原市、高島市、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、愛荘町、多賀町）、小学校6年生までが6自治体（野洲市、守山市、栗東市、草津市、大津市、彦根市）である。

Q 大津市が通院医療費の無償化を中学3年生まで拡大したのは、4月1日ではないのか。

A 大津市は10月から拡大される予定である。

Q 今年度、滋賀県内で18歳まで通院医療費無償化が拡大される市町は。

A 草津市、高島市、米原市が18歳まで医療費無償化を実施される予定である。



その他の質問

- ・多胎児支援について
- ・学力低下について
- ・いじめ問題について
- ・一人一台のタブレット導入について



▲令和5年4月より18歳まで拡充された近江八幡市の医療費無償化



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市の子ども条例の制定が必要ではないか

A 現時点では子ども条例の制定は予定していない

Q 子どもを取り巻く環境は大変厳しいものがあり、彦根市の子ども条例の制定が必要ではないか。

A 彦根市として子ども条例の制定については、国のこども基本法や（仮称）滋賀県子ども基本条例が本市にも適用されるため、これらの法律や条例に基づいて、本市が実施する内容を検討する必要がある。

こども基本法については、国がこども大綱を策定し、本市はそれを踏まえて子ども計画を策定する努力義務が生じることから、令和6年度に次期彦根市子ども・若者プランを策定する際に、こども計画の内容も含めて一体的に策定する予定をしている。

子ども条例を制定するのではなく、彦根市子ども・若者プランに基づいて子ども施策の充実を図ってまいりたいと考えている。



その他の質問

- ・中山道の交通安全について
- ・不適切保育について



▲彦根市子ども・若者プラン



矢吹 安子議員
市民産業建設常任委員会

Q エンタテインメントに特化した吉田学園の専門職大学誘致のメリットは

A 「日本のハリウッド」である「映画のまち彦根」の第一歩になる



その他の質問

- ・堤防の桜に衝突した車両事故について
- ・補助金目的の自治会活動にならないための市の政策方針と新たな施策は

Q 専門職大学設置への確固たる勝算は。

A 吉田学園はエンタテインメントに特化し、魅力的な講師陣のほか、ここでしか学べないことを特色としていることから、十分に学生を獲得することができる。

Q 基本合意書の内容は。

A 映画専攻、アニメ専攻、俳優・声優専攻の1学年100名、4学年400名の規模を想定すること。

Q メリットと地域の活性化は。

A 学生と教員等の関係人口増加、地域と学生の交流、映画産業の振興、映画・エンタテインメントによる地域の活性化を期待。

Q 映画のまちを目指し彦根を「日本のハリウッド」とするまちづくり構想とは。

A 映画や俳優のファンの方々が彦根を訪れるとともに、映画産業が集積することで、より本市の活性化につながり、専門職大学を設置されることにより、映画のまち彦根のブランド力向上の第一歩になる。



▲専門職大学建設予定地
(令和9年度開校予定)



黒澤 茂樹議員
市民産業建設常任委員会

Q 彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例を改正する理由は

A 保護者負担額を増額し、国・県・市の負担割合を見直すもの



その他の質問

- ・彦根市の少子化の現状等について
- ・保育所施設整備、保育所支援について
- ・小学校の統合・再編について

Q 放課後児童クラブ負担金徴収条例を改正する理由は何か。

A この事業は、保護者（利用者）負担金と、国・県・市の公費で運営している。事業規模の拡大に伴い市費負担が大きくなり、事業の維持や他の市の施策の圧迫につながりかねないことから、保護者負担額を増額する。

Q 保護者負担額の増額により放課後児童クラブの運営がどのように改善されるのか。

A 負担割合を変えるものであり、事業規模や中身は変わらないが、内容の充実に努める。

Q 一度に30%～33%も値上げするのではなく、5%程度等、段階的に上げる考えは無かったのか。

A 本市として、値上げしても保護者負担金は他市と比較し最低ラインであるということから、段階的に上げるというような考えは無かった。

保護者負担金改正の概要	
増加率	30%～33%
増加額	2,000円～3,000円

令和6年4月1日から適用

▲彦根市放課後児童クラブ負担金徴収条例改正案から





角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 気候非常事態宣言をするべきでは

A 同じ趣旨であるゼロカーボンシティの表明を行った

Q 気候非常事態宣言についての見解は。

A 気候危機を市民と共有し、気候変動対策に取り組むためのものと認識している。

Q 長崎県壱岐市の気候非常事態宣言についての見解は。

A 基幹産業の漁業に被害が出ており、脱炭素化の実現に社会全体で取り組むため宣言されるに至ったものと認識している。

Q 米原市の気候非常事態宣言についての見解は。

A 伊吹山に雪がほとんど降らなかったり、記録的な大雪になったりするのは気候変動の影響によるもので、その原因はCO₂の増加であり、市民に行動を促すためのものと認識している。

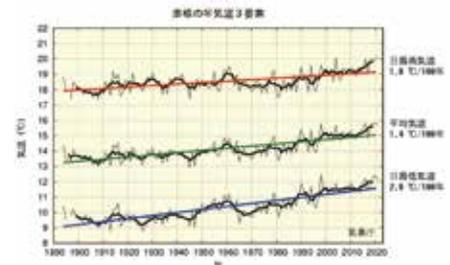
Q 気候非常事態宣言をするべきでは。

A 本市には低炭素社会構築都市宣言があることから、同じ趣旨であるゼロカーボンシティの表明を行った。



その他の質問

- ・トンネルコンポスト方式の調査結果について
- ・現有施設でのごみ処理をいつまで行うのか
- ・ごみ減量の取組が必要では



▲彦根の年平均気温の経年変化
(彦根地方気象台HPより)



安澤 勝議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市庁舎周辺の施設について雨漏れしている原因は

A 経年劣化により隙間が発生し、その隙間から雨水が伝い落ちている

Q 立体駐車場で、2階へ通じる坂道を約6メートル上ったところで連結部分があり、そこから雨水がしたたり落ちているが、その原因は。

A 構造上1階と2階をつなぐ車路の途中に伸縮目地として、幅50ミリの隙間を設け、アスファルト系の目地材を充填しているが、経年劣化により隙間が発生し、その隙間から雨水が伝い落ちている。

Q 修復可能か。

A 経年劣化した個所を補修することで対応可能。また、接続部分からの雨を受けるための排水溝を設けるなどの対策を講じることも可能と考える。

Q 冠水している原因は。

A 竣工以来約6年が経過したこともあり、雨水がアスファルト舗装の沈下した部分に溜まり冠水したと考える。

Q 修復可能か。

A 早急に修繕を進める。



その他の質問

- ・長年続けられている市民運動会に補助はできないか
- ・立体駐車場から庁舎入口まで屋根の設置はできないか



▲雨水により冠水し駐車できないスペース



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 路線バスを小型化し増便することで利便性の向上が図れるのでは

A 現状の路線バスと愛のりタクシーを組み合わせた仕組みを維持改善していく



その他の質問

- ・市役所の組織改編の根拠と効果について
- ・内濠での運行の成果を踏まえた上で、中濠に屋形船を運行させることについて

Q コンパクトシティ構想を進める上で、公共交通網の整備が不可欠と考えるが見解は。

A 彦根市立地適正化計画においても市内JR4駅を核とした都市のコンパクト化と容易にアクセスできる公共交通網の整備は不可欠である。

Q 路線バス利用者と補助金との関係性は。

A バスの利用者が増えれば彦根市からの補助金は減少する。

Q 山形県鶴岡市の事例を参考に停留所を増やし北回り南回りなど巡回するバスを小型化し増便することで利便性が向上し利用者が増えると考えが見解は。

A 小型化することで運転手の確保や負担軽減につながるメリットもあるが、現状の路線バスと愛のりタクシーを組み合わせた仕組みを維持改善していくためにも鶴岡市の先進事例の研究を進めていきたい。



▲彦根駅西口のバスターミナル



疋田 菜穂子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 送迎支援ボランティアに対して、行政から補助等はあるか

A 彦根市社会福祉協議会へ委託しており、財政的支援は考えていない



その他の質問

- ・成人の引きこもり問題について
- ・動物愛護と観光振興について

Q 送迎支援ボランティアへの補助拡充についての検討の余地は。

A 住民の互助を基本とした仕組みづくりを充実させていく。

Q 交通弱者の問題について、解決策として無人バスなど導入の検討は。

A 地域格差を含めた交通手段の問題については、解決すべき重要な課題であり、他市の先進事例の研究をしていく。新たな取組として昨年度からグリーンスローモビリティの社会実験行っており、有効活用策の検討中。

Q アンケートなどの実態調査の実施は。

A 地域公共交通の利用実態や要望を把握するため幅広い年代を対象としたアンケート調査を実施し、現在分析中。今後の公共交通施策に生かしたい。



▲送迎支援ボランティアの取組事例

※グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した小さな移動サービスのことです。



堀口 達也議員
企画総務消防常任委員会

Q 専門職大学の設置に当たっての課題は

A ①市街化区域への編入②用地買収
③埋蔵文化調査④文科省への認可申請



その他の質問

- ・母子モアプリ導入の経緯は
- ・ファミリーサポートの不安改善はできないか
- ・路線バスの利用改善ができないか

Q どのような専門職大学か。

A 映画、アニメ、俳優・声優の3専攻で、4学年400名の規模を想定しており、地域と学生との交流、映画産業の振興など映画・エンタテインメントによる地域活性化を目指している。

Q 今後の整備計画は。

A 令和9年の開校を目指しており、まずは令和6年度にかけて市街化区域への編入手続きを進める。また土地の売買のため地権者への説明、埋蔵文化財の調査、測量を行い、開校までに周辺道路の整備を進める。また吉田学園の認可手続きなども本市として可能な支援を行う。

Q 設置に当たっての課題は。

A ①市街化区域への編入②用地買収③埋蔵文化調査④文科省への認可申請

Q 周辺道路および公園整備への影響は。

A 専門職大学設置による影響はないと考える。



▲専門職大学の設置について



奥野 嘉己議員
企画総務消防常任委員会

Q 放課後児童クラブ利用料値上げ(33%アップ)の理由は

A 受益者負担の公平性を図るため



その他の質問

- ・危険予知トレーニングの観点からある小学校の例について、今後の施設整備への提言
- ・ICレコーダー配置について

Q 受益者負担の適正化とはどのような意味合いか。

A 利用者負担と合わせ、国、県、市の公費負担で運営しており、国の指針よりも市の負担が大きい。全児童の25%が利用している事業だが、利用していない児童や対象以外の世代の方々の負担でもあり、利用者の適正な負担は必要。県内他市では約1万円となっており、値上げ後の月額8,000円でも低額である。

Q 県内他市との比較では低額ではあるが、厚労省資料によると、全国的にはちょうど平均にも見える。その上で、増収によりどのようなサービス改善を考えているのか。

A 新たなサービスを追加するものではなく、増収となった分は、これからの子育て支援等に充当されるものと考えている。



▲放課後児童クラブの一例



辻 真理子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 養育費に関する公正証書作成等の補助金を法律相談にも使えないか

A 弁護士の相談費用を対象とする方向で前向きに検討したい



その他の質問

- ・彦根市の小児医療の充実について

Q 彦根市の離婚件数の推移は。

A 平成30年187件、令和元年209件、令和2年172件、令和3年187件、令和4年162件。

Q 弁護士による無料相談の実績は。

A ウイズの法律相談は、令和2年度5件、令和3年度2件、令和4年度0件。無料ではないが弁護士会主催の相談は令和2年度2件、令和3年度0件、令和4年度4件。

Q 公正証書等作成費用補助金の実績は。

A 令和3年度9件13万1,581円、令和4年度16件31万1,742円。

Q 養育費に関する調停について法的アドバイスを受ける弁護士費用を、上限を定めて補助対象にできないか。

A 弁護士の代理については高額であるので、相談の費用を対象とする方向で前向きに検討したいと考えている。



▲公正証書表紙



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 災害に備え避難場所や管理不全な空き家に対する市民の不安への対応は

A 一層の取組と不安に寄り添った丁寧なサポートや相談対応に努める



その他の質問

- ・小・中学校で赤ちゃんとの交流事業は
- ・小・中学校の「かかりつけ歯科医」等の取組は
- ・図書館サービスや家庭教育充実への取組は

Q 管理不全な空き家への対策は。

A 是正指導と、状況に応じ緊急安全措置による対応も実施する。

Q 居住学区にとらわれず迅速かつ安全に避難できる施設への避難の周知と、学区外に避難する事への不安に寄り添った取組は。

A 広報ひこねや自治会長合同説明会等、様々な媒体や機会を活用し一層の周知・啓発に取組むと共に、開設運営を担う市職員や施設の管理者に研修等意識付けをし避難者に安心頂けるサポート体制の充実等図っていく。

Q 安全な避難経路確保への取組は。

A 安全な避難経路選択の為の情報発信や、市民に寄り添った相談対応を一層図っていく。

Q 配慮を要する方々への不安に寄り添った対応は。

A 災害時避難行動要支援者制度等の一層の周知や活用を進めると共に、丁寧な説明や相談対応に努める。



▲令和4年3月に改訂が行われた彦根市民防災マニュアル



小川 隆史議員
企画総務消防常任委員会

Q 令和2年度から4年度の清掃センターの修繕費は

A 18億1千943万円



その他の質問

- ・地域コミュニティについて
- ・彦根市スポーツ・文化交流センターについて

Q 清掃センターの喫緊3か年の修繕費は。

A 令和2年度2億6千536万円、令和3年度2億9千778万円、令和4年度8億4千150万円。

Q ごみ減量の効果が大い、生ごみ回収を行うことが、現ごみ処理施設延命を図り、修繕費を抑えられることであり、市長も必要性を言及されているができないか。

A 本市での導入は難しい。

Q 現在の清掃センター延命のため、三キリ（水切り、食べきり、使いきり）運動以外の新たなごみ減量の具体的な取り組み内容は。

A 現時点ではない。



▲生ごみ処理のためのボカシづくり



林 利幸議員
市民産業建設常任委員会

Q 専門職大学の設置に向け課題は

A 様々あるが、一番の課題は当該土地の市街化区域への編入手続である



その他の質問

- ・石寺稲里線道路改良事業について
- ・芹橋彦富線(彦富工区)、稲部本庄線(稲部工区)道路改良事業について

Q 学校法人吉田学園さんと締結した基本合意内容は。

A 映画産業に従事する人材の育成および映画産業による地域活性化を目的として専門職大学の設置に向け連携して進めていく事で合意した。その内容は、設置場所はJ R 稲枝駅西側地区を想定すること、1学部1学科3専攻科で1学年100名、4学年で400名規模を想定すること、吉田学園に対し本市は適切な支援を行うことなどである。

Q 設置に向け今後の課題は。

A まずは県と協議しながら市街化区域への編入手続がスムーズにいくよう調整していくことが必要で用地買収に向け地権者との協議も課題。また吉田学園さんは文科省の認可申請をクリアされなければならない。



▲稲枝駅西側の専門職大学設置予定場所の現状



八橋 龍二議員
福祉病院教育常任委員会

Q 2025年の国スポ・障スポに向けての彦根市の方針は

A 両大会を一体的に開催し障害者理解を深め市全体で連帯感を高める



その他の質問

- ・プロシードアリーナ HIKONEの利用について
- ・障害者雇用問題（就労継続支援について）

Q 2025年滋賀国スポ・障スポが行われるが市の方針は。

A 彦根市実行委員会において「開催基本方針」を策定しており、競技力の向上やスポーツの普及・振興を図ることで全ての市民がより身近にスポーツを楽しみ、健康で心豊かな生活を送ること、また両大会を一体的に開催することで、障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加の推進に寄与する大会とすること、市民総参加で心のもったおもてなしや情報発信に取り組み、市全体で連帯感を高めることを目指す。

このような方針に基づき選手ファーストの視点に立ち、両大会に出場される選手を温かくお迎えするとともに、日頃の練習成果を存分に発揮頂けるよう競技会の円滑な運営に努めてまいります。



▲プロシードアリーナHIKONE



中野 正剛議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市に不登校特例校を設置しては

A 不登校特例校についての研究を今後も行う



その他の質問

- ・彦根市の水道行政について
- ・もっとみんなが使いやすい彦根市のバスに
- ・彦根市職員の子育て支援について

Q 彦根市の小中学生の不登校の現状は。

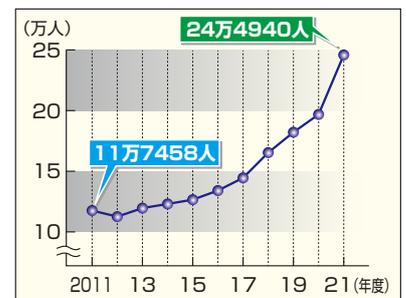
A 本市における令和3年度の不登校児童生徒数は314人、平成24年度は147人なので、10年前に比べると2倍を超えており、大きく増加している。

Q 彦根市に不登校特例校ができる可能性は。

A 本市における不登校児童生徒の増加は喫緊の課題であるが、不登校特例校の設置については、新しく学校を設置するための用地確保、校舎整備や教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家配置のための財源確保の問題があり、現時点では難しい。

Q 彦根市に不登校特例校を設置しては。

A 全ての子どもが自分に合った学びを選択できるように多様な教育の機会を確保していくことは大変重要であると認識しているので、不登校特例校についての研究を今後も行っていきたい。



▲不登校の小中学生の推移





戸崎 克司議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根城跡に生息するシラサギ
およびコロニーへの対策は

A 彦根城跡だけでなく、より広域の
課題として捉える必要がある



その他の質問

- ・彦根お城トンネル開通後の、渋滞・事故防止対策について
- ・旧ひこね燦ぱれす出入口交差点に信号機設置は可能か

Q 彦根城内に生息するシラサギおよびコロニーの数は。

A 彦根城西の丸三重櫓西側の山崎曲輪付近に数年前から数多くのシラサギが生息し、巣も多数あると確認している。

Q 彦根城世界遺産登録に向けての影響は。

A シラサギのふん害による樹木の衰退や枯死は、城山の景観保全の上で彦根城世界遺産登録に影響があるものと認識している。

Q 増え続けるシラサギおよびコロニーへの対策は。

A 樹木の伐採や枝払い、鳥の嫌がる音を発する装置設置、議員ご指摘のテグスや忌避シート設置等の対策も検討できる。

彦根城跡だけでは局地的かつ一時的な対応となるため、今後は広域での課題として捉える必要がある。



▲シラサギ 金亀公園より

新議員研修会を開催しました



今回新たに市議会議員に就任された議員を対象に、5月1日および8日、9日に研修会を実施いたしました。

また、5月22日には、市内の市有各施設の見学を行いました。

政務活動費



政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。

本市では、各会派に対して所属議員1人当たり年26万円（令和4年度までは年24万円）を交付しており、政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

年度途中で所属議員数に変更があった場合には、所属月数に応じて精算を行います。

交付の対象は？

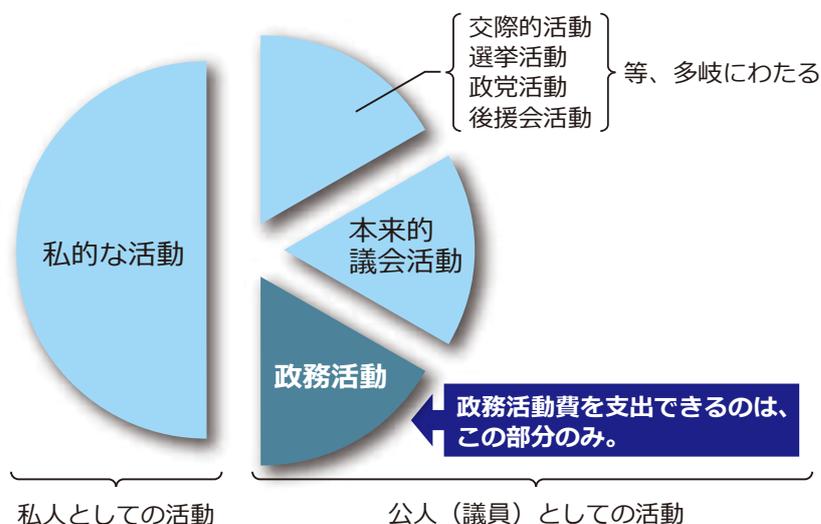
本市では、「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、使途基準を条例（彦根市議会政務活動費の交付に関する条例）で定めており、基準に合致しない等の理由で政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分から、ホームページで領収書の公開も開始しました。

【参考】～政務活動の概念図～

※本図はあくまで政務活動の概念を表したもので、政務活動費の支出割合を示したものではありません。



会派別一覧表（令和4年度交付分 収支報告書）（単位：円）					
交付会派名	人数	令和4年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
公政会	9名	2,160,000	716,456	0	1,443,544
創風会（令和5年1月～5名）	6名	1,380,000	1,379,411	0	589
夢みらい	4名	960,000	1,013,667	53,667	0
公明党彦根市議団	2名	480,000	371,926	0	108,074
日本共産党彦根市会議員団	2名	480,000	502,711	22,711	0

『ひこね市議会だより』は私たち広報委員が作成しています！



ひこね市議会だよりは、定期的に議会の情報を発信し、市民の皆さまに議会に対する理解と認識を深めてもらうことを目的に、広報委員会が発行しています。

今回の議員改選に伴い、新たなメンバーで議会情報を発信していきますので、よろしくお願いいたします。

次の定例会は
9月です



本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
9月 4日（月）	開 会	9：00
9月11日（月）	代表質問 個人質問	9：00
9月12日（火）		
9月13日（水）		
9月14日（木）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
9月19日（火）	福 祉 病 院 教 育 常 任 委 員 会	9：30
9月20日（水）	市 民 産 業 建 設 常 任 委 員 会	9：30
9月21日（木）	企 画 総 務 消 防 常 任 委 員 会	9：30
9月22日（金）	本 会 議	9：00
9月26日（火）	決 算 特 別 委 員 会	9：30
10月 4日（水）		
10月 5日（木）		
10月 6日（金）	閉 会	9：00
10月12日（木）		

ぜひ傍聴にお越しください。

いつでも簡易な手続きで傍聴ができますので、ぜひお越しください。

議場・委員会室ともに彦根市役所本庁舎5階にあります。

議場は定員45人、委員会室は定員9人です。

本会議・委員会の傍聴の仕方

- ①議会事務局（本庁舎5階）で「傍聴人受付簿」に住所やお名前等をご記入ください。
- ②傍聴者用の議案書、アンケート用紙、名札を受け取り議場または委員会室へ。
- ③お帰りの際、アンケートにご協力ください。